

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 5月 7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2875001204		
法人名	有限会社 健幸会		
事業所名	グループホームさくらの家		
所在地	兵庫県神戸市八多町中1367番地 (電話) 078-952-1088		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成21年3月9日	評価確定日	2009年5月7日

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

神鉄道場南口から歩いて10分の住宅地にある「さくらの家」は「自分がここで暮らしたい家を作りたい」と地域から要請があって設立された。医療面は母体医院の全面的なバックアップがあり、他病院との協力関係も良好である。入居前のその人らしい暮らしが継続できるようハード面、ソフト面に工夫がなされている。ゆったりとした玄関、一人で食事や読書を楽しめるコーナー、さくらの木が植わっている中庭、昔なじみの家具の配置や希望に応じた楽しみの支援等がなされている。ケアカンファレンスを毎週開き、一人ひとりのケアについてのフォローも熱心である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 定例会を使って内部研修を充実させ、タイムリーな研修ができるようになった。家族会開催の段取りができ、運営推進会議の内容も密度が濃くなった。家族と話し合う場を増やし、意見をより多くケアプランに反映させられるようになった。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 自己評価を回覧して職員の意見を求め、定例会でも話し合った。グループホームに求められていることの確認と意識改革につながった。昨年の評価を活かして研修、担当者会議やケアカンファレンスを充実させた。記録の簡素化も検討された。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 通例のメンバーのほか地域の同業者も参加している。金銭管理報告等近況報告を細かく行っている。地域の代表にはグループホーム機能の説明や地域からの高齢者への関わりについての意見や質問等双方向の会議がなされ理解が深まった。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 「さくらのさんぽ道」を毎月発行し、担当職員が家族に利用者の暮らしぶりを伝えている。金銭管理についても同時に報告している。電話や家族来訪時に率直な意見を聞くよう心がけているが、自由な発言を進めるため家族会を開催するようにした。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 地域の文化祭では「さくらの家コーナー」があり、利用者が作品を出展している。祭りなど地域の行事にも参加している。さくらの家まつりには地域住民や、自治会の参加もあり、地元との交流に努めている。

## 【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 5月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	27 人	常勤 13人, 非常勤 14人, 常勤換算	6.2人

## (2) 建物概要

建物構造	RC 造り
	2階建ての1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	88,300 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(198,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	370 円
	夕食	370 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	5名	要介護2	3名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.5 歳	最低	74 歳	最高	90 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	細川医院、済生会兵庫病院、相生病院、平島病院、磐田歯科医院
---------	-------------------------------

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「人権を守る」「公平・公正を心がける」「地域との交流を大切にする」を設立時より理念としている。地域からの要請で、話し合いを進めホーム設立にいたった。趣味やレクレーションの部分重要視しその人らしい生き方を支援していけるよう理念を作り上げた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・朝のミーティングで唱和し、日々確認している。ケアカンファレンスでも「利用者のためなのか」をまず考え支援の視点にしている。職員は道で近所の人に出会ったら挨拶し、買い物やクリーニング、外食等利用者と一緒に地域との関わりを大切にしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域の文化祭ではさくらの家コーナーがあり、利用者が作品を出展している。祭りなど地域の行事にも参加している。さくらの家まつりには地域住民や、自治会の参加もあり、地元との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価を回覧して職員の意見を求め、定例会でも話し合った。グループホームに求められていることの確認と意識改革につながった。昨年の評価を活かして研修、担当者会議やケアカンファレンスを充実させた。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・家族や地域の同業者も参加している。近況報告を細かくしている。地域の人々にグループホームや高齢者の施設等についての説明や地域からの一人暮らしの高齢者への関わりについての質問等への助言等双方向の会議ができるよう配慮している。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・事業所は行事や運営推進会議、施設部会以外での連携は取れていないと話す。</p>		<p>・連携が取りにくい点があるが、市の担当者に事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝え、協働して課題解決できる関係づくりが望まれる</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>・「さくらのさんぽ道」を毎月発行し、担当職員が家族に利用者の暮らしぶりを伝えている。写真から利用者の元気な様子がわかり、家族から楽しみにされている。金銭管理についても同時に報告している</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・電話や家族来訪時に率直な意見を聞くよう心がけているが、直接言いにくいこともあると思うので家族会を開き意見交換の場にしたと事業所では考えている。</p>		<p>・早急に家族会を開かれない。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・職員は複数の利用者を担当している。半年毎に担当換えをしているので、全利用者を把握していて、異動、離職のダメージはほとんどない。運営者は常に職員と面談し、家族状況等を考慮して、働きやすい職場作りを心がけている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・年間計画を立てて内部研修を行っている。外部研修は職員の希望で受講機会が提供されている。利用者の状態変化に応じ、カンファレンスで話し合い看護師も交えて働きながらのトレーニングをしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・グループホーム交流会はないが、施設部会が3ヶ月に1回開かれ、管理者、施設長が参加している。職員の相互交流も近く行われる予定。交流を通して、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居前に本人・家族でホームを訪問したり、併設デイサービスの利用や体験入居から納得して自ら入居にいたる人も多い。家族には初めのうちは連絡を控えてもらうようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・利用者、家族、職員が同じ位置で話し合う。利用者から歴史、年中行事、植木、草花等に関する知識を教えてもらうことが多い。夜勤の時、無事を祈ってくれる人もいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・センター方式で家族に協力してもらい、アセスメントしている。日常生活の中での得た本人の思いや意向は連絡ノートに記録しミーティングやケアカンファレンスで職員間で共有している。表情や行動から推測したり、本音を聞きだせる職員からの情報で把握することもある。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・生活の中での利用者の思いとアセスメントから得た情報を中心に職員間で話し合い、計画作成者が立てる。医師からのアドバイスも反映している。介護計画の具体的な内容を、シートに記入して日々のケアに活かしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・3～6ヶ月で定期見直しを、特変事等は随時見直しをしている。毎週行われるカンファレンスの記録で日々の様子を確認し、連絡ノートで職員の気付きを確認して見直しの材料としている。担当者が変わるとき（半年毎）に新たな問題点や解決すべき課題が得られることもある。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・利用者の希望に応じた併設デイサービスとの相互利用及び職員協力ができている。通院、入院や早期退院等医療面での個別支援も柔軟に対応している。</p>		<p>・ホームは今後地域における認知症ケアの勉強会や相談窓口としての役割を担っていくことを計画している。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・かかりつけ医の週2回の往診体制により、利用者個々の医療面を日常的にサポートしている。職員は個別の通院同行により説明を受けたり報告相談している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・担当者会議に利用者、家族が参加し早期に重度化対応や支援の共有を図るよう努め書面に残している。</p>		
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>・理念のトップに「人権を守る」と掲げ、全職員が最重要項目と捉え、常に意識するよう努力している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・一人ひとりの特質や過ごし方にそった声かけに努め、不安を感じさせないケアの実践に取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・事業所内の厨房から運ばれた食事を利用者が一緒に配膳し、出来る人は自分で後片付けしている。役割としてお茶を入れたり、月2回の食事会では調理に携わる人もいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・利用者の希望で曜日、時間が定期化している人、好きな時に入浴している人など利用者の意向を重視している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・これまでの関わりを出来るだけ残しながら、趣味や特技など楽しんでもらう環境、時間を整えることに重点をおいている。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・散歩や買物、外食などを日課としている利用者もいる。外出を好まない人には職員が意識してドライブや買物に誘うよう努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・夜間は防犯上施錠している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・年2回、夜間想定を含む防災訓練を行っている。消防署の指導を受け職員は利用者の動き方を把握し共通認識している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・管理栄養士が、疾患を持った人にも配慮し、栄養バランスが取れたメニューを提供している。飲料は好みのものをいつでも提供できるよう配慮している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・リビングは中庭に面しており、開放的で明るい。中庭にはさくらの木が植えられ常時花が楽しめる環境である。骨董家具やセンスの良い調度が随所に置かれ、一人でくつろげるスペースも確保されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・これまでの生活に近い環境を重視し、利用者、家族と時間をかけて相談している。利用者一人ひとりの居室で過ごす時間が長く、居心地の良さが感じられる。</p>		

 は、重点項目。